

もっと公務員を増やして

府職の友 本庁ニュース

発行
大阪府職労
内線3746

民営化問題

先日、公務職場の民営化問題をとり上げた集会(第19回大阪地方自治研集会民営化問題分科会)に参加しました。住民情報にかかわる窓口業務の民間委託、公立保育所・学童保育所・学校給食の民営化、市民病院の独立行政法人化等々、さまざまな職場の実態の報告がありました。

指定管理者制度、市場化テスト、民間委託、職員定数を減らし非正規職員化、市町村合併による自治体職員の減など、公務員の数はどんどん減っています。総務省の調査によると、自治体の職員数は一九九五年から減り続け、23年間で16%強も減っています。人口千人あたりの日本の公務員数は、アメリカやイギリスの約半分、フランスの4割しか

居ないとのことでした。

災害時対応の人員

大阪北部地震に続き、西日本豪雨、台風12号と災害が続いています。災害時にこそ公務員の存在が発揮されると思います。大阪府職員防災必携には、災害時は、自身、家族の安全を確保、安全な場所へ避難し、安全確認後、指定場所後に参集する。参集時においても被害を把握し被害状況を上司等に報告すること、となっています。

今回のような大規模な災害時は、各地の自治体職員の奮闘はなくてはなりません。しかし冒頭に書きましたが、この間自治体職員は減りつつづけており、罹災証明書の発行はじめ、避難所での昼夜を問わず住民対応に追われ、過重労働になっていることと想います。大阪府にも府下市町村や府外からも次々と職員派遣の要請がありますが、この間の人員削減で、派遣職員を送

パンチ島田の

さすらい放湯記

400

500

海潮温泉
桂荘

とは須く硫黄を含む濁り湯と思ひ込んでいて、拍子抜けしたのが懐かしい。その「海潮荘」も健在。

※温泉情報

出雲国風土記に記述がある奥出雲の古湯。中学卒業を前に、私の温泉行脚はこの地から始まった。当時は宿に泊まるしかなかったが、手軽に名湯に浸かれるこの施設は、新たな泉源に切替えて六年の先月、入館者五十万を達成。今も昔も湧き出たままの無色透明のさらりとした湯が滔々と溢れる。情報のない時代で、温泉

公式サイトです。 <http://www.katurasou.jp/>

(島田祐輔)

り出す職場も、通常業務を抱えているので大変です。災害はいつ起こるかわかりませ

るいは派遣できる職員数を確保できるように、人員の定数は減らすのではなく増やしてほしい、そう願います。

水曜日
一仕事
自分の健康と家族のために
一定時に帰りましょう!